

# 往来軒

修業所として十分  
意味ある根拠地だ  
あるが、都市に於  
る共同体では不便

今回は都市における共同体を模

索してみました。現在各地にみら  
れる共同体の中で、生産面をコミ  
ューン的に行なおうと試みている  
のは、農業を軸としたものに多い  
ようです。一方、消費生活を中心  
とした共同体は都市にも沢山みら  
れますが、ここでは生活の基盤を

自ら否定する身売りの労働に求め  
ざるを得ないという矛盾が厚い壁  
として立ちはだかっています。そ  
れは、巨大な資本の力が縦横に張  
りめぐらされた都市で、生産性を  
持つ共同体を志向することの困難  
さを示しているといえましょう。

しかし、コミュニン運動を、現状  
に代るモノを創出していく過程の  
中に、現状の打破をめざすものだ  
とすると、矛盾の集中した都市こ  
そが、格恰の出発点になると思い  
ます。そんなこんなで、あなた達の  
都市共同体のイメージを自由に書  
いてもらいました。

1 コミュニニケートの共同化として  
考える。活動の共有化というイ  
メージが多い。例えば一緒に住  
むとか、食を共にするとかは、  
コミュニンとしては重要じゃな  
いと感じている。各自の活動は  
各々最も自分に促したところで  
すべきで異なるのが当たり前、

2 コミュニン運動というものは、  
あくまでも意識変革の柳泉、革  
命が起りそうにもない国に於る  
や、いらだたしい文筆運動であ  
ろう。従って一つの共同体は、  
外部に向って開かれた教育機関  
を常に持っているが、又はそれ  
と深く切り合って促進されるの  
がよいと思う。例えば一つの学  
校全体が一つのコミュニンとな  
る事か。ナイフ一つ、一俵前功  
というものは、コミュニン道場

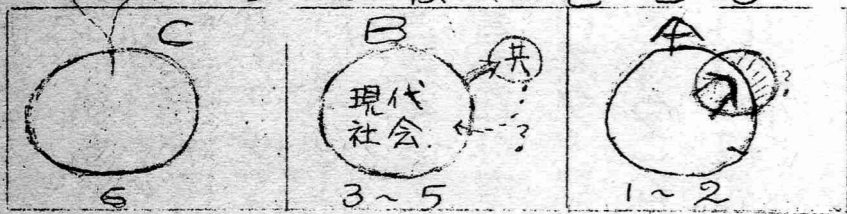
この上ない。

3 都市でも農村でも要は、経済が自  
立することだと思つ。都市の場合  
は、共同体がまるごと取られる仕  
事があればいいのだが。厚木振出  
塾や土方コミュニンのように、土  
方の下請仕事で生計をたてるのは  
面白い。飯場住いを井筒化してい  
けば……

4 食つために共同体内のある人が、  
あるいは全員が、疎外感の存在す  
る取場に身を置く。そして、その  
取場以外の時間を共同体という温  
床にくるまる。マイホーム主義の  
一種の変型。  
川崎 H

5 一つのアパートの住人が一つの家  
族的な密着なつながりを持ち、そ  
の中でお互い好きに自由に、特に  
規則を作らなくても自主的に、一  
体化への気持をもってやってみて  
そこから都市共同体が……山形 E  
6 厳密な意味で都市共同体は成り立  
たないであろう。共同体は農業を  
基盤とし、自給自足を原則に、そ  
の連合体形成をめざすもの。ただ  
し、農村の地域的連合が全国的な  
連合をめざす場合、その要になる  
地点に、都会が有する都市機能の  
ような役割を果たす区画は出来るで  
しょうが、それは都会であつては  
ならない。都会は現代文明の矛盾  
の象徴的存在で解体されねばなら  
ないと思つています。  
東京 N

これら6つの文章を読んだ私のイ  
メージは、四の三つにまとめられま  
す。Aは現代社会に根  
ざした活動の共有化を通じ  
て、その集団が共同態を  
なしているという状態を  
めざしているように思ひ  
ます。それに対しBでは  
今の社会の前提（疎外さ  
れた労働が栄える資本主  
義社会）にふれずに  
そこで感じる消耗  
感、異和感の解消を



生活共同体に求めているのでは？そ  
うすると、共同体の内鎖性（特殊孤  
立地帯化）をどのようにして乗り越  
えるのか。Cは自然への回帰、農業  
労働に基づく生活をめざすユートピ  
ア志向のイメージだと思ひます。し  
かし、コミュニン運動は現社会を創  
造的に否定していかうとする中にこ  
ぞ、生命があるのでは……

次に都市一人間教育という発想  
のもとに、現代教育批判を書いても  
うりました。

○子供の本能である動き遊び、体  
を動かす事を無視した教育は、  
社会性、共同性が養われぬ。奥  
庭をしてこぼりかた教師、教授（  
狂師、狂殺）一つの専向しかしな  
かった見識の狭いものが教育を行  
なっている。共育へともにとどつ  
これが基本ではなからうか。幾度  
も教育は人間が生まれたその時其か  
ら始められている。学校では、教  
師と生徒という区別された中で、  
教育が固定化され始められているの  
は？生徒のオゴは、無意識の内  
に教えられる立場みたりなものを抱  
いてしまう。まず、教えるること  
より、共に学ぶこと、ということ  
者の向う進めていくこと、自覚意  
識の開始！  
茨城 K

○教育現場の教師に労働を通じ、の  
連帯がない。生徒と教師と一緒に  
して、われわれと意識しようとい  
う努力は命令もない。教師集団  
を「我れ我れ」とし、生徒を「彼  
れ」とする。しかも、「我れ我れ  
が本物ではない。こんな中々今思つ  
ことは、一人のコミュニン」を  
立派に作り上げるといふことであ  
る。そこからいつも出発しなければ  
ば、複数のコミュニンなど出来、  
こないし、出来てもファッショニ  
ンにすぎないと思つたのです。大阪 K

